ＪＡＥＡ ＨＰより

我が国のエネルギー供給の一部を支えるエネルギー原子力発電、その発電に伴って発生する「高レベル放射性廃棄物」の処分方法を研究開発している施設「幌延深地層研究センター」を視察してきました。

⇒現在、最も良い方法とされている処分方法が「地層処分」という方法です。

＊地層処分：原子力発電に伴って発生する「高レベル放射性廃棄物」を、地下深くの安定した岩盤に閉じ込め、人間の生活環境や地上の自然環境から隔離して処分する方法のこと。
「人工バリア」と「天然バリア」を組み合わせた多重バリアシステムで、長期にわたり放射性物質の動きを抑えて閉じ込めます。

・国際的にさまざまな処分方法が検討された結果、現在では、深い地層が持つ物資を閉じ込めるという性質を利用した「地層処分」が人間による管理を必要としない良い方法であるというのが、国際的に共通した考え方となっています。

ＪＡＥＡ ＨＰより

ＪＡＥＡ説明資料より

＊施設内を視察する前に地層処分の現況等について説明を聞いた後、専用つなぎに着替え、キブル（工事用エレベーター）に乗って地下３５０ｍの坑道内を視察

機会がありましたら、是非「深地層処分研究開発」施設の視察をおすすめいたします。

２０１９．１０．８　西那須野商工会